



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588 会長 竹井崇利

ロータリー親睦活動月間

第 3205 回例会	No.45	2019. 06. 05	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分	「国歌」	「奉仕の理想」
ロータリーの目的	宮田真一郎 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話		

会長時間

日野原重明 1911年山口県生まれ 聖路（せいるか）加国際病院名誉院長
 2017年、105歳で逝去

「ありがとう」という言葉で人生をしめくりたい

「命とは自分が自由に使える時間」です。それを何にどう使うか、時間の使い方は、そのまま命の使い方になります。

本当に大切なことは目に見えない。幸福は外にあるのではなく内にあること。当たり前のように生きている時間が、人生の大きな宝物である。

予期せぬ災難に見舞われることが不幸なのではなく、その時に、希望を失ってしまうことが不幸なのです。希望というのは自分の中にある「耐える心」です。今は苦しくても、いつか光が見えてくることを信じて待つ心です。神様は人に病むこと、辛いこと、苦しいことなど試練を与えました。しかし、人とのふれあい、時間の経過、自然とのかかわりを通して、耐える心が育まれる計らいもされました。そのような経験を通して私たちの心が支えられ、明日を信じて今日を過ごすことができる。

「いのちという時間」

多くの人は、人間は生まれた時に寿命というものを与えられて、そして、その与えられた寿命は年齢を重ねるごとにどんどん減っていき、寿命を使い果たした時が命の終わり・・・と思っているかもしれませんが、そうではないのです。生きるという事は、寿命という大きな器を、精一杯生きる一瞬一瞬で満たしていくことです。寿命は最初から決められていて、減っていくという考え方は、大きな誤解です。

「いのちを使う喜びとは」

いのちをという与えられた時間をどう使うか。いくつなっても生き生きとした人生を送るためには、打ち込む仕事や楽しめる趣味をもつことももちろん大事です。しかし、人間にとって生きている実感を味わえる、一番充実した時間の過ごし方は、助けを求めている人のために自分の時間を使うことだと思います。誰かの役に立つという事は、自分という存在そのものが生かされているという事です。

以上は、「いのちの使い方」の抜粋でした。

「運命は自分でデザインするもの」

運命をデザインするために、何より大事なものは人との出会いです。誰かと出会うことで運命が左右されることがあります。新しい出会いは、日々の行動の習慣、考え方、生きる環境もガラリと変える力を持っています。人との交わりは、人生の行く手を変えてしまうことも少なくありません。しかし、人と出会っても、その人から何かを学んだり、互いに前向きな刺激を受けたりしなければ、それは「出会い」ではなく、「すれ違い」に終わってしまう。良い出会いには深い交わりが必要です。

「死が語りかけるものを、子供たちに気づかせよう」

今は死の姿というのが、暮らしの中から消えてしまいました。医者や看護師を目指す人だって、身近な人の死を経験しないまま医療の現場に立つことが珍しくなくなっています。

幼い子供でも、死にゆくおじいちゃん、おばあちゃんなどの様子をありのままにみせることには意味があるの

です。子供に死がなんであるかを伝えるのは大人の責任です。

もうすぐ死ぬと分かっている人に「死ぬんじゃないよ、頑張りなさい」といって意味のない注射をするのではなく、「もう頑張らなくていいんですよ、静かに召されるんだから」と最後のケアをすることが人間的ということなのです。

ですから私はガン患者さんの最期には、痛みを止めるために使っていたモルヒネをいったんやめることもしています。モルヒネを切ると、意識がすっと戻ってきます。そして目の前にいる家族の姿に気がつく。ここで最期の会話をしなさいと。

医師の最期の仕事は、「ご臨終です」と宣告することではなく「これでお別れのときとなりました。みなさん、ちゃんとお別れができてよかったです」と自然に口からこぼれるようなサポートをしてあげること。それがほんとうのホスピス・ケアだと思います。

閻魔さまが尋ねます「生きた時間のうちどれくらいを人のために使いましたか」誰でも死んだら、まず閻魔さまの前に立たされます。閻魔さまは天秤棒を持っていて「あなたは生きてきた時間のうち、どれくらい自分のために使って、どれくらい人のために使いましたか」と尋ねられる。自分が飲み、儲け、仕事をするために使った時間を右の秤に、人のために使った時間を左の秤に。もちろん、若いうちは自分のための時間が多くても致し方ない。でも、人生の後半というものは、自分に与えられた知恵やセンスや技術を社会にお返ししていく段階にあるのではないのでしょうか。

幹事報告

- 1) 振徳高等学校より、振徳通信が届いておりますので回覧致します。
- 2) 地区大会 DVD が届いております。
- 3) 2020 年度国際ロータリー年次大会参加申し込みが届いております。ロータリー日韓親善会議のご案内、広告掲載募集が届いております。

委員会報告

雑誌会報広報委員会 「ロータリーの友」6月号の案内

親睦委員会 誕生者 渡邊眞一郎君 (1948) 峰松俊夫君 (1962) 清水満雄君 (1943) 齋藤篤史君 (1978)
齋藤奈々君 (1970)

結婚 日高章太郎君 (1985) 宮田眞一郎君 (2008)

スマイル

土屋昭次君 昨日、日南市の「協働まちづくり推進委員会の会長を仰せつかりました。5期目(10年)もうそろそろ引退したいと思っています。

石灘寛樹君 2週続けて休みました。その間に司法書の会会長に再任されました。あと2年頑張ります。

竹井崇利君 会長任期があと1ヶ月となりました。最後までご協力お願いします。疎捨て、次年度山口会長、入中幹事を宜しくお願いします。

例会行事

結婚・誕生者卓話

齋藤奈々君(誕生)



6月6日は楽器の日、邦楽の日、生け花の日でこれらは「芸事は6歳の6月6日から始めると上達する」といわれていることから、制定されました。

また、6月に梅雨で雨が多く、よく使われるということから、ワイパーの日。絵描き歌で6月6日が登場するので、コックさんの日でもあります。

そして、「恐怖の日」でもあります。新約聖書の「ヨハネの黙示録」に登場する「獣の数字」に因ります。これを基に「オーメン」という映画が作られ、ちょうど小学生高学年だった頃テレビ放送があり、よくいじめられました。主人公ダミアンの頭に666の文字があったことから、私の頭にもあるんじゃないかと言われたからです。もちろんありませんが、今の私の一番の恐怖は、天然パーマではありますが、なぜこんなクルクルの髪になってしまったかです。

本日は齋藤奈々君、宮田眞一郎君以外は全員欠席でしたが、その宮田君も所要の為退席、齋藤君だけの卓話でした。その為急遽、石灘寛樹君の次年度2730地区会員増強委員会研修セミナーの報告をして頂きました。



先日、地区協議会研修会が終了した後、会員増強委員会研修セミナーがありました。その際行われたグループディスカッションでの意見をいくつか紹介します。

増強の必要性については、いろいろの人と出会う。会員相互の意見交換を通して自らのレベル（人間的にも、仕事のにも）が上がり、結果地域の活性化につながっていく。だから、必要だ。という意見が出ました。

増強手段として取り組んでいる方法としては、①とにかく会いに行く②以前いた会員にもう一度声をかける③会員の親族に声をかける（ソロプチミストからたくさん入会してもらった実例を挙げていました）。そして④例会にゲストとして呼んで、卓話をしてもらう。このときゲストには会員の方から率先して名刺交換を行って、歓迎する。等でした。特に、ゲストを歓迎するという事については、普段なかなか交流するチャンスがなさそうな人から「いらっしやい」と言って、名刺交換してくれると感激する（西都RC会長自身の体験談）とのエピソードが紹介されました。

私は、今年例会運営委員会、次年度は会員増強委員会に配属されていますので、ゲスト卓話とうまく融合されながら増強に取り組みたいと思います。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HIC出席	MU	欠席	出席	出席率
前々週 5/22	36	4	32	25	6	1	31	96.87%
今 週	36	3	33	24	0	9	24	72.72%
出席免除	村上、渡邊、古澤							
先々週MU	桑村、石灘、齋藤(奈)、松尾、宮田、村岡							
先取MU								
欠 席	阿部、斉藤(篤)、野崎、日高、守永、石崎、榎木田、清水、落丸							

事務局 〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：竹井崇利 副会長：山口秀一 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。